



テープカットの様子

岐阜医療科学大学開設記念式典

虹ヶ丘の名城大学跡地に新設された岐阜医療科学大学可児キャンパスの開設記念式典が6月8日に開かれ、約130人がテープカットなどで祝いました。

落成式で山田理事長は「地元と一体となって、貢献できる事業を実施していきたい」と挨拶。来春に開設する薬学部の新棟には、研究室や実習室の他、地域の人の健康相談を受ける部屋が設けられます。今後は保健指導や認知症、薬品についての公開講座なども開かれる予定です。

こんな未来になるといいな

「第41回未来の科学の夢絵画展」で全国入選した岡崎さん（桜ヶ丘小6年）、長谷川素良さん（今渡北小5年）、林優太さん（帷子小4年）が、（一社）岐阜県発明協会可児支会の松田支会長と共に喜びを報告しました。

3人は作品のテーマや苦労した点などを順に市長に説明。「山がく救助隊」という題で、大会5位の発明協会賞を受賞した岡崎さんは「ニュースを見て、ロボットの手で安全に救助活動ができればいいと思った。将来はロボットを作る仕事に就きたい」と語りました。



（左から）長谷川さん、林さん、岡崎さん



元久々利まちづくり委員会、株式会社パロマの皆さん

都市景観大賞を受賞！

広報かに6月号で紹介した「元久々利まちづくり委員会“城守隊”久々利城跡整備活動」が、優れた景観を実現した地区・活動をたたえる都市景観大賞の景観まちづくり活動・教育部門で、大賞の国土交通大臣賞を受賞しました。山城での受賞は全国で初めてのことです。

6月19日には、14日に東京都内で行われた表彰式の様子を市長に報告。会長の奥村さんは「まちの皆で一生懸命やってきた活動がこんなにも大きな成果となって嬉しい」と喜びを語ってくれました。

みんなで元気に「みつひでクン！」

可児市オリジナルソング「麒麟児・みつひでクン」に合わせた振り付けが完成しました。可児商工会議所の女性会が創作を企画。6月25日に市役所で市長に踊りを披露しました。振り付けには「かに（可児）」のはさみに見立てたVサインや「みつひでクン」「ゴーゴーゴー」といった掛け声を織り交ぜ、盛り上がり意識。副会長の吉田さんは「子どもから大人まで楽しく踊れる。夏祭りの定番にしたい」と期待を膨らませました。



Vサインで思わず笑顔があふれます

スーパルーキーがやってきた！



6月8日、プロ野球ウエスタン・リーグがK Y Bスタジアムで開催されました。始球式では今渡北小学校のエース、冠者健太さんが投球。「同級生からの声援を浴びて緊張したけど上手く投げられた。今日は根尾選手のファインプレーが見えるといいな」とわくわくした表情で語ってくれました。

3人の岐阜県出身者が入団したドラゴンズ。可児市出身の勝野昌慶選手は登板しませんでした。ドラフト1位の根尾昂選手がスタメンで出場。スタンドからは大きな声援が飛び交い、4打数2安打の活躍をみせてくれました。

試合前の根尾選手に可児市や勝野選手について聞くと「K Y Bスタジアムは中学の頃プレーしていて、いいグラウンドだったのを覚えている」「勝野選手は優しい先輩で、いつも気さくに話をしてくれる」と答えてくれました。



（左）根尾選手とサイン

（右）始球式を務める冠者さん（6年）



位牌に向かい焼香する参加者

明智光秀公供養祭

6月8日、明智光秀公の438回忌となる供養祭が明智氏ゆかりの寺「天龍寺」で開催されました。

供養祭は明智城址保存会が光秀公の遺徳をしのび昭和48年から毎年開催。当日は保存会の会員や地元の人をはじめ、関係者60人が参加し、光秀公の命日である6月13日にちなんで作られた、6尺1寸三分（約184cm）の位牌に向かい次々と焼香しました。引き続き茶会が催され、参加者からは「可児で生まれた光秀が大河ドラマでどう描かれるかが楽しみ」といった声が聞かれました。

明智光秀～知られざる実像～

静岡大学名誉教授で戦国史研究の第一人者として知られ、2020年大河ドラマ「麒麟がくる」の時代考証を担当する小和田哲男さんの講演会（東濃信用金庫主催、可児市共催）が、6月8日に文化創造センター・アールで開催されました。

講演では、出生地をはじめ信長家臣団の出世頭としてのめざましい活躍や、本能寺の変に至った要因など光秀の生涯にまつわるさまざまな謎について解説し、詰め掛けた約1,000人が、興味深げに聞き入っていました。



講演する小和田さん